

学校教育目標

- 「かしこく やさしい 元気な子 ひかり輝く 茅ヶ崎台」
- 基礎基本を身に付け、自ら問題を発見し、意欲的に学び続ける力を育てます。(知)
 - 善いこと、悪いことをきちんと判断し、自分や相手を大切にする態度を育てます。(徳)
 - 規則正しい生活習慣を身に付け、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体)
 - 自分らしい夢や目標をもち、自ら考え行動する態度を育てます。(公)
 - 自他の違いを受け止めながら、人とのコミュニケーションを通して、ともに生きていく力を育てます。(開)

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	茅ヶ崎中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <心身ともにたくましく生きる力> <問題発見・解決能力>	茅ヶ崎中学校 茅ヶ崎小学校 茅ヶ崎東小学校	○主体的に学習し、伝え合いながら学びを深める子ども(コミュニケーション力) ○協働的に解決策を見出し、実行する子ども(問題発見・解決能力) ○地域と自らかかわり、支えあう子ども(社会生活との関わり) 授業研テーマ“魅力ある茅ヶ崎中学校区を目指して” ～育成を目指す資質・能力の視点での小中教科指導の工夫～ ・年2回の授業参観・研究協議会 ・合唱交流・部活動見学会での児童生徒同士の相互理解

中期取組目標

- かしこく やさしい 元気な子 の育成を目指して、豊かにかかわり、心をつなぐ学校にします。
 - ・学びの意欲を高める授業づくりを推進し、自ら問いをもち学び合う態度を育てます。
 - ・心身ともに健康な生活習慣の確立と体力向上に向けた取り組みを推進します。
 - ・豊かな人間性の育成のため、縦割りペア活動の充実を図り、教育ボランティアの活用を推進します。
 - ・地域とのつながりを意識し、様々な体験を通して自分の住んでいるまちを愛する心を育てます。

重点取組分野	具体的取組
知 学習指導	①学習のきまりを継続的に確認し、学年のニーズに合わせた段階的な取組で定着を図る。②地域や関係機関と連携を図り、児童のよさや課題を見つめて教材開発や研究を行う。③授業づくりにおいて、児童が自身の学習意欲や活動する中で得た根拠をもとに、自分の考えをもち、思いを話す場を充実させる。
徳 特別活動	①たてわりグループの活動を通して、互いに協力し、仲間意識を育むとともに、各学年にあった役割を設定・実践し、自己有用感をもって活動できる場を設定する。②他学年や地域の人と関わる活動を通して、自分から心を開いて相手の立場や考え方を受け入れていこうとする意識や態度、他を思いやる優しい心を伸ばす。
体 健康教育	①保健学習の充実に向け年間計画を作成し、養護教諭と連携して3～6年生まで学習記録を蓄積する。②家庭と連携し、健康管理能力の向上を図る。③食育タイムを継続し、学校栄養士と連携して季節や学年に応じた食育に取り組んでいく。④ちがはたくんを活用し、食の大切さや感謝の心がもてるような活動を計画的に行う。
公開 地域学校協働活動	①地域コーディネーターと連携し、新1年生ボランティアの充実を図り、幼保小のスムーズな移行を目指す。②図書ボランティア等の教育ボランティアの活動を再開し、教育活動の充実を図る。③生活科や総合的な学習の時間を中心に「茅ヶ崎台人材バンク」を活用し、地域の人と関わりを大切にする教育活動を展開する。
いじめへの対応	①毎月の学校生活アンケートと丁寧な聞き取りを継続し、児童一人ひとりの見取りをさらに重要視する。②防止対策委員会において、専任を中心に、いじめの早期発見、再発防止、未然防止に努める。③思いを表記することができない児童の見取り方を検討していく。④マチコミを通じて、保護者への周知・啓発を図る。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①職員の現状やニーズに合わせ、外部の講師を招いて、研修の機会を設けてスキルアップを図る。②様々な教科の基礎的な研修等、メンター研のメンバー構成に合わせた研修を展開する。③働き方を自分で選択して、自分たちで高めていけるようなシステムを構築する。
情報教育	①ICTを効果的に活用した学習方法をワークショップ形式で共有する。一人一人が持っているノウハウや考え方を共有できる研修を設定する。②教職員で情報共有を図り、使用頻度が均等になるよう、学校での統一を図る。③外部講師による情報モラル教室等、ICTの活用に向けた活動を充実させ、情報公開する。
児童指導	①学年ごとに重点項目を決めたり、振り返りを行うことで「学校生活スタンダード」の徹底を図る。児童支援全体会でも、振り返りの場を設ける。②常に現状に合ったスタンダードになるよう、検討を重ねる。③年2回以上のYPアセスメントとプログラムの実施を定着させ、支援検討会を充実させる。中学校との連携を図る。
特別支援教育	①ユニバーサルデザインに関する様々なアイデアを募り、全校で共通理解を図って取り組むことで、その効果を検証し、よりよい取組を考えていく。②特別支援教室での取組を周知し、取り出し指導を通して子どもたちの個別の支援に努め、より安心して学校生活を送ることができる環境を整える。
道徳教育 人権教育	①学校保健委員会や人権週間の取組など、年間を通して人権意識を高める取組を計画的に行う。②道徳推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。また、各学年での取組を交流する。③職員の道徳意識、人権意識を高めるため、研修を設ける。